

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	体育施設管理運営事業（日生）		コード	03-02-06-11	担当課係	市民スポーツ課(日生) 体育振興係
事業実施期間			担当者	岡崎 弘子	電話	0869-72-1085
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり				
	中項目	生きがいのあるまちづくり				
	小項目	スポーツ・レクリエーション				
	施策	スポーツ施設の整備・充実と有効活用				

事業について	
目的	日生運動公園等のスポーツ施設を委託を中心に経費の節減を図りながら維持管理を行い、サービスの向上と快適な施設を提供する。
対象（誰のために）	施設利用者
内容	体育施設管理事務・体育施設維持管理・体育施設管理運営委託・ヘルスパ日生（健康づくり施設）補修補助

事業の結果								
実施項目	17年度							
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)		
体育施設利用者	45,163	人						
運動公園利用者	90,801	人						
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	17,528	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,875	受益者負担	1,095	人件費		受益者負担	
			市債				市債	
	合計	21,403	一般財源等	20,308	合計	0	一般財源等	0
		0.44	人					
結果指標①	結果指標名	体育施設利用者						
	結果指標量	45,163						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
	事業費	15,617,858	円		円			
単位当たりコスト①	346	円		円				
結果指標②	結果指標名	運動公園利用者						
	結果指標量	90,801						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
	事業費	163,020	円		円			
単位当たりコスト②	2	円		円				

事業の成果			
成果指標名	施設利用者数	式又は説明	日生運動公園・浜山運動公園・日生武道場 仮設GG場の年間延べ利用者数
成果指標量	17年度		
	135,964		
対前年比	0.00%		
到達目標値	150,000	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識  競技スポーツだけでなく、誰でも気軽にライフステージに応じた各種のスポーツができ、楽しみながら健康維持、増進を図る。また、公園としての機能も充実させ、年間を通しての市民の憩いの場となるようにする。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	浜山運動公園については、建設課管理であるが、利用者受付などは日生運動公園施設管理運営委託料に含み、経費削減に努めている。平成18年度からは指定管理者制度導入により更なる民間活力の活用を検討する。受益者負担額については市内統一の根拠を持って検討する。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	施設利用者は年々増加傾向にあるが、受益者負担額の見直しと、施設の老朽化に対する改善と経費について検討しながら今後拡大を図る。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	施設の維持管理及び運営について、併設するプールを持つ民間団体に委託し、一貫性を持つ形で運営を行いコスト削減に努めてきた。指定管理者制度を導入する前から、それに似た形をとっていたが、市内に温水プール施設2箇所、近隣に温浴施設多数、運動公園や体育施設に関しては旧市町村各一つずつと、類似施設があまりに多いため、複合施設の特性を生かした運営を研究・検討する。施設の老朽化については改善すべきである。	評価区分 <A~E>  C
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	50,000	結果指標量②	95,000
目標値 成果指標量	145,000		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	民間活力の利用を検討	平成19年度	施設利用時間の有効性と利用者拡大及び利用料の増加

事業の目的、対象内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。